



正徳
欄

二 之 卷

和漢年代記 二

綏靖

安寧

懿德

孝昭

孝安

孝靈

漢 周の簡王此五年より

秦の始皇帝の三十二年

よひし



改正和漢年代紀卷之二

余史記
大史記
山

元	才 綏靖	譚ハ神 淳井再此	庚辰 齊の靈公元年○晋 の景公死す子に	周 簡王	
二	<p>尊まきの名ハ神淳名川再の尊神武才三乃皇子 りり母ハ蹈鞬五十鈴雄と事代主の神の大女也 十四歳して太子とかり五十二歳して位して治す位 ましゆすとし此三年○正月八月位してきよ都と太積乃 葛城の郡よりす高兵の官と子○皇后と尊で皇太后と子</p>	五	三	<p>春元湯彦友乃命と食季 國の政申太夫とす</p>	七
二	<p>春太皇后のいもと五十鈴辛巳 依雄と后よたのろ</p>	六	三	<p>春元湯彦友乃命と食季 國の政申太夫とす</p>	七

年代記 卷之二

四	帝の御兄 神八井丹 の尊を奉る	癸未	五月。周より秦とせし曹の宣公軍八に死す。公子負芻曹の世つぎとてりしとてしつぐ
五		甲申	曹の成公元年。秦の桓公死す子九はぐ。十月衛の定公死す子はぐ
六		乙酉	秦の景公。衛の献公の元年。六月宋の共公死す子はぐ
七		丙戌	宋の平公の元年。四月滕の文公死す子はぐ。夏晋の厉公楚とてりて大よやう
八		丁亥	滕の成公元年。邾の定公死す子はぐ。燕の昭公死す子はぐ
九		戊子	燕の武公。邾の宣公の元年。晋十三

十		己巳	魯の襄公。晋の悼公の元年。九月簡王崩す
十一		庚寅	才 靈王 名泄心簡王の子なり 位ありし廿七年。正月簡王とてり。六月鄭の成公死す子はぐ
十二		辛卯	鄭の僖公元年
十三		壬辰	陳の成公死す子はぐ
十四		癸巳	陳の哀公元年
十五	石磯城津彦 玉手看の尊	甲午	

年代記

六二

二

どうしつふ安寧天皇とれり

廿六	乙未	鄭の僖公死す子けぐ	六
廿七	丙申	鄭の簡公元年	七
廿八	丁酉		八
廿九	戊戌		九
三十	己亥	正月魯の三桓よりて三軍とけり よのく一軍の將きり	十
三十一	庚子	九月呉の壽夢死す子西人あり 諸樊二六餘祭三六餘昧 父季札が賢かりゆへよれよづん 欲す季札く辞して諸樊けぐ	十一
三十二	辛丑	呉の諸樊元年○九月楚の共王死す子けぐ	十二

廿三	壬寅	楚の康王元年○衛の献公齊よ十三 くろ國人公孫栗とたてけり	十三
廿四	癸卯	衛の殤公の元年○十一月晋の悼十四 公死す子けぐ	十四
廿五	甲辰	晋の平公元年	十五
廿六	乙巳	二月邾の宣公死す子けぐ	十六
廿七	丙午	邾の悼公元年○曹の成公死す 子けぐ○燕の武公死す子けぐ	十七
廿八	丁未	燕の文公○曹の武公の元年○七八 月齊の靈公死す子けぐ○八月鄭 の子産大夫とけり	十八
廿九	戊申		十九
三十	己酉		二十
三十一	庚戌		二十一
三十二	辛亥		二十二

正月七日磯城
津彦玉手着のみと太子に
六年癸酉のやまで二千二百五十年にたよふ

年代記

卷之二

元 太子乃在淳 戊申 齊の莊公元年 十九

元 名底中津姫 大日本彦 非友の尊とて 孫は懿徳とれ也

元 巳酉 九月朔日十月朔日とも小册とく 廿

元 庚戌 十月四日孔子魯の國とて生れまふ 廿一

元 二世尊入滅ら 辛亥 天とく五百羅漢 迦湿弥羅國とあつ 廿二

元 四百年にたり 法智論とて 毘婆沙論と 廿三

元 五月廿日帝 壬子 冬 燕の文公死す 懿公はく 廿三

元 高紅乃の宮に崩す ます 壽八十四歳 〇七月三日 磯 廿三

元 城津彦玉手看乃の尊位にきまふ

元 才 安寧 癸巳 燕の懿公元年 〇五月 齊の崔杼は 廿四

元 譚ハ磯城津 莊公とて 其とて 杵臼とたてつ 廿四

元 〇十二月 吳の諸樊 林走とて

元 彦玉手看乃 〇矢よあつて死す

元 尊先帝の皇子なり 母はすもろ姫とて 事代主乃の神

元 の小女なり 十一歳とて 太子となり 廿歳とて 位に即

元 たり 〇八月 許の靈公死

元 皇と太和乃の桃花鳥田の岳の上乃の陵とて 〇八月 許の靈公死

元 二 都と太和乃の甲寅 齊の景公 〇吳の餘祭の元年 〇二 廿五

元 斤塩とて 〇月 衛の甯喜 其君 〇八月 許の靈公死

元 浮穴乃の宮とて 〇八月 許の靈公死

元 出雲色乃の命 〇八月 許の靈公死

元 〇執政とす

元 三 正月 鴨乃の王 乙卯 許の悌公 〇衛の献公 後の元年 〇其

元 〇のひすの停名 〇衛の甯喜とて 〇齊の慶封 〇崔

元 底中津姫と 〇杼が族と誅す

元 〇

元 〇

元禄六年癸酉二月

二十一日四十一号

人王ヨリ百早二年ニ成

后とす

四

丙辰

十二月靈王崩す。○楚乃康王死す。廿七子にぐ。○燕の懿公死す。子にぐ。

五

丁巳

景王 名ハ貴。靈王乃子ナリ。元位。一。あり。廿四年。

六

戊午

楚乃邾敖。○燕の惠公の元年。○衛乃献公死す。子にぐ。○閻人。○吳の餘祭。と。つぐ。季札。魯。つぐ。して六代の樂と。魯。齊。邾。衛。魯。の國と。つぐ。徐と。過て。徐の君の墓。一。釵。と。け。て。か。へ。り。

七

己未

蔡の靈侯元年。○六月魯乃襄公死す。子にぐ。○子路。生る。

八

庚申

魯乃昭公元年。○邾の悼公死す。莊公にぐ。○楚乃令尹圍。邾敖と。つぐ。邾の郊。教。子。比。晋。一。る。

九

辛酉

楚乃靈王元年。○晋乃平公韓宣子と。魯。一。る。す。宣子。魯。一。つ。きて。易の象。と。春秋。と。と。ん。て。い。く。周の礼。と。一。る。魯。一。わ。り。○漆。雕。開。し。ま。る。

十

壬戌

滕乃成公死す。子にぐ。○燕の惠公六子にぐ。○魯の懿公と。つぐ。門。り。

十一

正月大日本

癸亥

滕乃悼公。○燕の悼公乃元年。○七

年代記

卷之二

彦邦友の尊
太子にらるる

正月大わらまあり○七月齊の慶封と
してころす○有若びまか

甲子

秦の景公死す子はく

八

乙丑

秦の哀公元年○鄭人刑書とつ

九

丙寅

天と才八祖位難提入寂す○八月衛
の襄公死す子はく

十

丁卯

衛の靈公元年○陳の哀侯のとき
招乱とわいて哀侯自害す子乃留
鄭より楚人陳とほろがす五年空位

十一

戊辰

七月晋の平公死す子はく○伯魚
まる○冬宋の平公死す子はく

十二

己巳

晋の昭公○宋の元公の元年○四

十三

庚午

楚の靈王○蔡の靈侯よりてころす
冬靈王の子棄疾蔡とせめて靈侯の子
有とて棄疾蔡の公とかり

十四

十九

辛未

春鄭の簡公死す子はく

十五

廿

壬申

鄭の定公○蔡の平公○陳の惠公の
元年○夏楚の比晋より楚よりて靈
王とて棄疾す蔡よりて比と
ころす蔡の有と蔡より
してつぐむれと平公と子陳の留と
陳よりてつぐむれと惠公と子○
燕の悼公死す共公はく

十六

廿一

癸酉

燕の共公○楚の平王の元年○七
春曹の武公死す子はく

十七

年式巳

卷之三

六

世	丁亥	曹の成公●呉の闔閭の元年○夏鄭の六 定公死す子けく○滕子寧死す子けく ○顔淵魯國にひま	僚とろす諸樊子國とけく○曹の 悼公死す子けく
世六	戊子	鄭の釁公●滕の頃公の元年	
世七	己丑	六月晋の頃公死す子けく	
世八	庚寅	晋の定公元年○四月薛の釁公九 死す子けく	
世九	辛卯	薛の襄公元年○夏呉の闔閭越と十 の曹の昭公死す○曹の成公死す子けく	
世十	壬辰	崩りす壽五十七歳	

才 懿徳

講ハ大日本彦彦親友の尊先帝才二の皇子なり母ハ

二	正月五音都壬辰	●魯の定公●曹の隱公の元年○六月十一 魯乃世にぎとすて昭公のときにきとく	の宮とて二月息石耳命のひす天豊津姫と后とる
三	癸巳		
四	甲午	高字ハ子夏衛とてひま	
五	乙未	春陳の惠公死す子けく○孔子詩書礼樂十四 彦香殖稲	

六年癸酉の年まで二千二百年したる

皇后觀松 彦香殖稲

廿九	廿八	廿七	廿六
己酉	戊申	丁未	丙午
秦の惠公死す子にぐ	春孔子陳より衛より去る。夏衛に災死す子にぐ	魯の哀公元年。春呉の夫差越の師とやち勾踐會稽山より去る。大夫種よくて呉より和とふ伍子胥勾踐とて去るんとて夫差去る。勾踐とて勾踐とてゆると	呉の夫差元年。春孔子衛より魯より去る。五月魯の定公死す子にぐ。九月孔子曹より宋より去る。弟子と大夫のともありて礼とて去る。孔子とて去るんとて其木とて孔子とて衛より去る。又陳より去る
廿九	廿八	廿七	廿六

廿三	廿二	廿一	廿
甲寅	癸丑	壬子	庚戌
才九祖伏馱密多寂す。正月宋	齊の悼公。楚の惠王の元年	齊の孺子荼元年。楚の昭王孔子とて去る。陳蔡の大夫孔子とて去る。糧とて去る。三月。七月。楚の昭王死す子にぐ。孔子楚より衛より去る。齊の惠公の子陽生魯より齊より去る。國とて去る。陳とて去る	秦の悼公元年。二月盜蔡の昭侯とて去る。孔子陳より蔡より往る。八月。滕の頃公死す子にぐ。魯母にぐ。蔡の成侯。滕の隱公の元年。九月。杞の景公死す。少子にぐ。公子駒と嘉と黔と衛より去る。鉏と陽生と魯より去る
廿三	廿二	廿一	廿

廿二月十二日觀
松彦香殖
稻の写太
子にたりと

才九祖伏馱密多寂す。正月宋

世五	世六	世七	世八	世九
乙卯	丙辰	丁巳	戊午	己未
陽まて世五代六百卅六年としてほらふ	二月齊の悼公死す子にぐ○孔子衛よりゆく	●齊の簡公元年○呉の伍子胥自害す ○滕の隠公死す○孔子衛より魯より 書と叙礼とを詩とより樂とたり易の 象と繫と象と説卦と文言と公序づ	孔子の子伯魚死す○顔淵死す	魯の哀公晋の定公と呉の夫差と潢池 に會す○九月哀公の死す孔子春秋と
世四	世五	世六	世七	世八

の景公曹とらして伯陽とらす周の武
王元年の叔振鐸曹に封でらして伯
陽まて世五代六百卅六年としてほらふ

二月齊の悼公死す子にぐ○孔子衛よりゆく

●齊の簡公元年○呉の伍子胥自害す
○滕の隠公死す○孔子衛より魯より
書と叙礼とを詩とより樂とたり易の
象と繫と象と説卦と文言と公序づ

孔子の子伯魚死す○顔淵死す

魯の哀公晋の定公と呉の夫差と潢池
に會す○九月哀公の死す孔子春秋と

はらりこして筆とらふ○六月齊の陳恒
其君簡公と弑し其弟懿常とたつ
がの相とらつて政とつりぬまらす

●齊の平公元年

●衛の莊公元年正月蒯聵戚より衛より
久ら國とけぐれと莊公と子○四月八日
孔子卒し多し壽七十三歳

七月楚の惠王陳とらして閔公とらす周

の武王元年○胡公滿陳に封でらして
閔公まで世四代六百十五年として陳より

秦の悼公死す子の共とら

峽乃宮より山崩まらす壽七十七歳

●秦の厉公元年○敬王崩す

世五 十月十三日 懿乙丑 世四

徳天皇と畝傍山の南織沙溪乃上の陵よりなりませしか當
年空位なり

元 才 孝昭 丙寅 才 元王 名ハ仁敬王の子なり位あり
七年 ● 衛乃出公より衛

諱ハ觀松彦

よまつて國とけく ○ 晋乃定公死す子ハ錯く

香殖稻の尊先帝乃皇子なり母ハ天豐津媛と子息
石耳の命乃むとめなり十八歳とて太子とわり此二歳よ

して位よつきま位よましはすし八十三年 ○ 正月九月位

命と執政とす ○ 元禄六年まて二千百六十八年より

二 胃 世襲足 丁卯 ● 晋乃出公元年 媛と后よりり

三 戊辰 十一月越乃句踐兵とみ起差自害す

周の武王元年ハ周章吳と封せんとり
廿代六百五十年ハ吳から

巳 六月蔡乃成侯死す子の産けく

庚午 ● 蔡乃声侯元年

辛未 五月衛乃出公宋よりり

壬申 ● 衛乃悼公元年宋より衛とみて出公と七
衛ハんてかす衛乃人黜とたてつ

がひんと悼公と子 ○ 宋乃景公死す得
て ○ 十月元王崩す

癸酉 才 貞定王 名ハ元王の子なり位あり
廿八年 ● 宋乃昭公

元年 ○ 魯乃哀公死す子の寧けく

甲戌 ● 魯乃悼公元年 ○ 鄭乃列禦寇隱居

年式記

卷之三

七

十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	
癸未	壬午	辛巳	庚辰	己卯	戊寅	丁丑	丙子	乙亥	
越の鮑与死す子の育姑はく	●越の育姑元年○晋の智氏韓氏魏氏趙氏范氏中行氏と六卿となつゝ智伯と韓氏魏氏趙氏と范氏中行氏と				●鄭の哀公元年	●燕の孝公●越の鮑与の元年	燕の献公死す孝公はく○越の勾踐死す子の鹿郢はくはと鮑與と子	魯の三桓の威つよして諸侯の	して仕はず列子十篇と
十一	十	九	八	七	六	五	四	三	

十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一
甲申	乙酉	丙戌	丁亥	戊子				
晋の出公死す智伯昭公の曾孫十二	晋の哀公●蔡の元侯の元年○齊の十三	齊の宣公元年○鄭の國人其君哀公十四	●鄭の共公元年	晋の趙襄子韓康子魏桓子と智伯				
十二	十一	十	九	八	七	六	五	四

十九 元禄六
年まで二千
百五十年よ
によぶ

ほして其地と四つと出公森魯につげ
て四卿とんとす四卿とつて出公とせし
出公森魯とす

三月
平公死す子の積はく

●齊の宣公元年○鄭の國人其君哀公十四
と弒し声公のとと丑とたてはくは

とほろがいて其地と三よわら

廿七	廿八	廿九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四
巳丑	庚寅	辛卯	壬辰	癸巳	甲午	乙未	丙申
	衛の悼公死す子伋○蔡の元侯死す子つぐ	●衛の敬公●蔡の侯齊の元年○燕の	●燕の成公元年○越の肅姑死す子	●越の朱勾元年	楚の惠王蔡とわらばと周の武王元年よ	叔度蔡よ封でれしち侯齊まで廿六	代六日七十六年よしてほろよ

兄瀛津世襲の命とらて大臣とす

廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十	三十一	三十二
庚子	辛丑	壬寅	癸卯	甲辰	乙巳	丙午	丁未
才	才	才	才	才	才	才	才
哀王	哀王	哀王	哀王	哀王	哀王	哀王	哀王
正月貞定王崩す去疾位	正月貞定王崩す去疾位	正月貞定王崩す去疾位	正月貞定王崩す去疾位	正月貞定王崩す去疾位	正月貞定王崩す去疾位	正月貞定王崩す去疾位	正月貞定王崩す去疾位

八月鬼思王と弒して三つて立

癸	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
巳酉	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
巳酉	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
九	八	七	六	五	四	三	二	元		

辛也
考王
名ハ鬼思王のとなり
位ハありし十五年○王の弟

揚と河南に封じて之と桓公以後植
公死して威公に之と威公死して惠公に之
惠公の子と鞏縣に封じて東周とす

壬寅 晋の哀公死す子に之と龍門の河水赤と三日
癸卯 晋の幽公元年

甲辰 晋を以て幽公を以て其臣韓魏趙を朝す
乙巳

丙午 六月朔日あり
丁未 燕の成公死す閔公に之と

戊申 燕の閔公元年○彗星ありとす
己酉 楚の惠王死す子に仲と之と衛の敬公死す子に之と

庚戌 楚の簡王○衛の昭公の元年○魯の十
悼公死す子の嘉に之と

辛亥 魯の元公元年
壬子 秦の躁公死す子に之と

癸丑 秦の懐公元年○晋の國桃李と冬
實のり

甲寅 考王崩す○衛の魯其君昭公と弑して
之と西周の惠公其子班と河南

乙卯 鞏縣に封じて之と東周とす
丙辰

丁巳 威烈王
名ハ平考王の子に之と位
元

戊午 名ハ平考王の子に之と位
元

辛 辛 辛 辛 辛 辛 辛 辛 辛 辛 辛

孝安天皇
生れあり

○正月七日位しきりし八月皇后とたんで皇太后とす
年より元祿六年癸酉のうまで二千八十五年よれば

二十月都と室庚寅齊の田和其君康公と海上より一とつた一十一
の地よりいそ
城とわえて食しむ

秋津嶋の宮とす

三 八月六見の辛卯 十二

命三見の命兄才とに宿祿とす

四 壬辰 齊の田和諸侯とす 十三

五 癸巳 十四

六 甲午 魏の文侯死す子の毅手は呉起魏と 十五

去て楚より一と楚呉起と相とす

七 乙未 秦の出公魏の武侯趙の敬侯韓の文侯 十六

齊の田和元年安番田和命とて諸侯とす

八 丙申 秦の度長改其君出公と其母とと弑一靈 十七

公の子とにてつじ

九 丁酉 秦の献公齊の桓公の元年 十八

十 戊戌 天と才十一祖富那夜奢寂す 十九

十一 巳亥 昭と才十一祖富那夜奢寂す 二十

十二 庚子 楚の悼王死す子の臧つと楚の貴戚 廿一

乱とりて呉起と射らる

十三 辛丑 楚の肅王元年 廿二

十四 壬寅 齊の康公死す子と田和遂と齊と并せ 廿三

てきりし周の武王元年と太公望齊と封

せらしてより廿九代七百廿八年とてはる

十五 癸卯 齊の威王因齊元年 廿四

十六 甲辰 晋の靖公元年 廿五

十七	乙巳	韓の哀侯元年 ○韓魏趙に晋の堵共公と家人一其地と云わろ周の武王元年 叔虞と唐の封せしむ 釐公まで 卅八代 七百四十一年して晋はろふ ○安王崩す	元
十八	丙午	名喜安王の子なり位よ	元
十九	丁未	○韓の哀侯鄭とて康公とてろす 宣王廿二年 桓公と鄭と封してろす 世 四百廿二年して鄭はろふ	二
廿	戊申	趙の成侯元年 ○四月二日孟子む	三
廿一	己酉	燕の桓公 ○衛の声公 ○宋の辟公元年	四
廿二	庚戌	魏の武侯死す 子はろ ○韓の嚴遂其君と殺す	五

廿三	辛亥	魏の惠王 ○韓の懿公の元年 ○周の襄王の元年	六
廿四	壬子	楚の宣王 ○宋公剔成の元年 ○烈王	七
廿五	癸丑	楚の宣王 ○宋公剔成の元年 ○烈王	七
廿六	甲寅	楚の宣王 ○宋公剔成の元年 ○烈王	七
廿七	乙卯	楚の宣王 ○宋公剔成の元年 ○烈王	七
廿八	丙辰	楚の宣王 ○宋公剔成の元年 ○烈王	七
廿九	丁巳	秦の献公韓魏趙の師とやちて首とろす 旁頭王其功と賞 献公と侯伯とす	五

其二月十曾押甲寅 雉の命と皇后と云る

才 顯王

名喜安王の子なり位よ 四百十八年

七五	七三	七二	七	六	五	四	三
乙未	丙申	丁酉	戊戌	己亥	庚子	辛丑	壬寅
趙の武靈王元年○四月秦始て王稱す	衛の嗣君元年○蘇秦燕より齊より	韓の昭王元年○蘇秦燕より齊より	秦の張儀秦のため小魏と弱んとして	齊の威王元年○齊の威王の相たり	齊の威王崩す○齊の威王と薛公より	魏の惠王元年○魏の惠王の子なり	魏の惠王元年○魏の惠王の子なり
四三	四	五	六	七	八	九	二

七五	七	六	五	四	三	二
癸卯	甲辰	乙巳	丙午	丁未	戊申	己酉
魏の襄王元年○韓魏燕趙楚の師と	齊の襄王元年○魏の襄王と秦と	魯の平公元年○燕王噲國と其相子之	慎靚王崩す	齊の宣王元年○齊の宣王の子なり	齊の宣王元年○齊の宣王の子なり	齊の宣王元年○齊の宣王の子なり
三	四	五	六	七	八	九

正月五日大日
本根子彦太
瓊乃尊太子

報王

齊の宣王元年○齊の宣王の子なり
齊の宣王元年○齊の宣王の子なり
齊の宣王元年○齊の宣王の子なり

年代記

卷之三

七三

元	百	九	八	七	六	五	四	三	二	一
庚午	己巳	戊辰	丁卯	丙寅	乙丑	甲子				
正月九日帝 庚午										
秋津嶋の宮より崩りぬと壽百七歳九月十三日五手 の兵の上の陵より少りたてまつり										
才 孝靈										
諱大日本根子彦天瓊の尊先帝の皇子 母八押姫の孝安天皇の姪なり其歳を太子たり 五十三歳して位よりきりしは七十六年○										
辛未										
廿五										

五	四	三	二	一
乙亥	甲戌			
遊江の地瘵と裂て湖と なり同日時				
駿河の國は富士山より				
齊の徹王楚魏とも小宋とありて主僊と ろす周の成王元年は微子宋より封じりて り地氏八百卅一年して宋はろふ				
廿九	廿八	廿七	廿六	廿五

六 天乃御影
 天乃御影の神出現
 一の近江
 の益須郡
 三上の神社
 三上の神社は鎮座す

七	丁酉	燕の樂毅秦韓魏趙の師と率て齊と世 じり楚の渾齒清王とらす樂毅齊の城七 十余とら燕の王樂毅と昌國君と封す齊 の王蝎節と守りて自害す	廿二
八	戊寅	齊の襄王元年齊の王孫賈市人買人 と率一楚の渾齒と謀一清王の子法章 以君とすれと襄王と少の趙の王蘭相 如て下積玉と秦よさくく○衛の君 死す懷君とく	廿三

九	己卯	●衛の懷君元年	廿三
十	庚辰	楚の頃襄王周の寇せんんを東周公とじ	廿四
十一	辛巳	燕の昭王死す惠王とく樂毅惠王とく すよて燕とく趙ましと趙樂毅と望 諸君と封す○齊田單と安平君と封す ○孟嘗君死す	廿五
十二	癸未	●燕の惠王元年○秦白起と封し武安君とす	廿七
十三	甲申		廿八
十四	乙酉	●魏の安釐王元年○魏公子無忌と封し 信陵君とす	廿九
十五	丙戌		三十
十六	丁亥		三十一

齊代紀

卷之三

廿五

癸	庚	己	丁	庚	癸
庚戌	己酉	戊申	丁未	丙午	癸卯
秋秦の昭襄王死す子の柱にぐ	衛の元君元年魏の人衛の懐君とら 其ととたててはげいん元君とふ	燕の王喜元年韓の桓惠王尊と稱し 秦に朝す魏の安釐王法令と秦より	燕の王喜元年韓の桓惠王尊と稱し 秦に朝す魏の安釐王法令と秦より	○秦の昭襄王すてよち より辛丑年周とわを	○秦の昭襄王すてよち より辛丑年周とわを
五	四	三	二	元	元

赧王と周より入す五周より入つて崩す西周
より周の民東より入る

東周
○秦の昭襄王すてよち
より辛丑年周とわを

○秦の昭襄王すてよち
より辛丑年周とわを
其宝器とやら西周の文公と
惠批聚より入す東周の惠公僅し周の君
とのこす

○燕の王喜元年韓の桓惠王尊と稱し
秦に朝す魏の安釐王法令と秦より

衛の元君元年魏の人衛の懐君とら
其ととたててはげいん元君とふ

秋秦の昭襄王死す子の柱にぐ

四 世尊の入滅 七百年より
辛亥 秦の孝文王元年十月孝文王死す
子の楚にぐ

大秦
莊襄王

姓嬴名楚まこの名ハ
異人孝文王の子なり周

と滅して位ははき國とわより秦し
位ありし三年呂不韋と相國し文
信侯に封す○莊襄王呂不韋より東
周と滅し惠公と陽人聚より入す武王の
即位より惠公まで此七代八百七十二年よ
して周はらび秦より○楚の王喜と滅し
頃公と下より入して廢人しす周公より此
代して晉はらふ

三 癸七 二

六	卒未	秦の内史勝韓と滅し王安と虜する周七の威烈王廿三年景侯諸侯より列し	十八
三	壬申	衛乃君用元年	十八
三	癸酉	秦の王翦趙を以て其君王遷と虜する趙の公子嘉を以て代王し	十九
三	甲戌	魏の王假楚の負芻代王嘉の九年廿二燕の太子丹衛の荆軻をして秦の始皇をころさんす謀なりして秦荆軻をころす	廿
空	乙亥	十月燕の王喜太子丹を殺して秦の始皇を始し	廿

六	丙子	秦乃王賁魏を以て河梁の水を魏の城に中より魏降参す王假をころす周の威烈王廿三年景侯諸侯より列し	廿
七	丁丑	代百廿九年魏はらふ	廿
六	戊寅	秦乃王翦楚を以て負芻を虜する周の安王元年楚の悼王戦國より入し	廿
九	己卯	秦乃王賁燕を以て王喜を虜する周の顯王廿七年易王戦國より入し	廿

年代記

卷之三

七

七	庚辰	嘉國と興て代と名づく周の威烈王廿三年 列侯諸侯にカクしより十代百十二 年よりして代はろぶ	王賁齊をからげ王建と虜より王建飢其 死す周の安王十六年より田和諸侯にカクし より七代百六十年よりしてはろぶ○始皇六國 をはろがり天下とすして天子の位はほく自 徳三皇と稱功五帝と過るるして皇帝と 号し謚の法とす十月と歲の首とす 天下と世六郡よりより法度とす	七	辛巳	七	秦の徐福來 して不死乃	七	辛巳	七	芒
---	----	--	---	---	----	---	----------------	---	----	---	---

始皇東に巡り鄒嶧山より石を築て功業をかひ又泰山に封琅玕山より石を

茅と未化も
多す○孔子此
書してめて
日本よもろ

刻て徳とほひ徐福と東海に遣して神像死
の茅ともしひ江准に流るる而郡を率りて
還る時風雨甚し松の下より松と五
大夫よ封す

韓の張良讎を報んふ力士して始皇と荒
鉄の椎とてお殺んてす謀りて車より帝
驚て張良と尋ねもえず○沙門室利坊等
十八人天竺より來り異俗を惡て獄におこし
金剛神來現獄の門を碎て沙門と出す

七五	乙酉	七	七
七四	甲申	七	七
七三	癸未	七	七
七二	壬戌	七	七
七一	辛酉	七	七
七〇	庚申	七	七
六九	己未	七	七
六八	戊午	七	七
六七	丁巳	七	七
六六	丙辰	七	七
六五	乙卯	七	七
六四	甲寅	七	七
六三	癸丑	七	七
六二	壬子	七	七
六一	辛亥	七	七
六〇	庚戌	七	七
五九	己酉	七	七
五八	戊申	七	七
五七	丁未	七	七
五六	丙午	七	七
五五	乙巳	七	七
五四	甲辰	七	七
五三	癸卯	七	七
五二	壬寅	七	七
五一	辛丑	七	七
五〇	庚子	七	七
四九	己亥	七	七
四八	戊戌	七	七
四七	丁酉	七	七
四六	丙申	七	七
四五	乙未	七	七
四四	甲午	七	七
四三	癸巳	七	七
四二	壬辰	七	七
四一	辛卯	七	七
四〇	庚寅	七	七
三九	己丑	七	七
三八	戊子	七	七
三七	丁亥	七	七
三六	丙戌	七	七
三五	乙酉	七	七
三四	甲申	七	七
三三	癸未	七	七
三二	壬午	七	七
三一	辛巳	七	七
三〇	庚辰	七	七
二九	己卯	七	七
二八	戊寅	七	七
二七	丁丑	七	七
二六	丙子	七	七
二五	乙亥	七	七
二四	甲戌	七	七
二三	癸酉	七	七
二二	壬申	七	七
二一	辛未	七	七
二〇	庚午	七	七
一九	己巳	七	七
一八	戊辰	七	七
一七	丁卯	七	七
一六	丙寅	七	七
一五	乙丑	七	七
一四	甲子	七	七
一三	癸亥	七	七
一二	壬戌	七	七
一一	辛酉	七	七
一〇	庚申	七	七
九	己未	七	七
八	戊午	七	七
七	丁巳	七	七
六	丙辰	七	七
五	乙卯	七	七
四	甲寅	七	七
三	癸丑	七	七
二	壬子	七	七
一	辛亥	七	七

戸の官崩す一歳百廿八歳

卷之三終



